

Ⅱ 収支予算

令和5年度収支予算書

(1) 収入

(単位：千円)

項 目	令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	比 較	備 考
花巻市交付金	11,720	11,720	0	地域づくり交付金
繰越金	1	1	0	前年度繰越金
雑入	1	1	0	預金利子等
合 計	11,722	11,722	0	

(2) 支出

(単位：千円)

項 目	令和5年度 当初予算額	令和4年度 当初予算額	比 較	備 考
1. 地域づくり交付金 事業	11,722	11,722	0	(1) + (2)
(1) 事 務 費	2,395	2,395	0	・ 報酬 360 ・ 日当 100 ・ 人件費 1,235 ・ 需用費 500 ・ 役務費 200
(2) 事 業 費 ①+②	9,327	9,327	0	①本部事業 2,405 ・ 総務企画 905 ・ 生活環境 220 ・ 保健福祉 110 ・ 地域振興 375 ・ 教育文化 795 ②地域づくり支援事業 6,922 ・ 道路整備 2,578 ・ 生活環境 2,330 ・ 自治公民館 981 ・ 防災事業 896 ・ 団体支援 137

花南地区コミュニティ会議 地域づくり交付金事業

I 令和5年度事業計画

1. 基本方針

私たちが暮らす地域がより暮らしやすいまちになるよう、私たち自身の手で創り上げることを基本に、花南地区コミュニティ会議が発足して17年目を迎えます。

この間、住民の交流と連携を図り、自助・共助への理解を深める事業や、自治会・各種団体の課題を解決する事業を支援し、住民主体のまちづくりが推進するよう様々な取り組みを展開してきたところですが、3年前からは急遽拡大した感染症により制限された中での活動となりました。

今年度は、感染症対策も落ち着きを見せることから、地域の課題や様々なことについて話し合いお互いに協力し、住民のふれあいと思いやりの心があふれ暮らしやすい花南地区を目指すため、「参画と協働のまちづくり」を進めて参ります。

2. 事業内容

(1) コミュニティ会議本部事業

◇総務企画部会

① 広聴広報事業

花南地区コミュニティ会議の活動や、『参画と協働のまちづくり』への関心を高めるため広報紙「花南コミュニティだより」の発行、各地区や各種団体のまちづくり情報の収集及び発信に努めます。

② まちづくり先進地研修事業

地域特性を生かしたまちづくりや様々な取り組みをしているまちづくり先進地を視察し、花南地区や花巻市のまちづくりの参考とするため先進地視察研修を行います。

③ 人材育成事業

花南地区のまちづくりを担う人材を育成するため、人材育成事業「上館協働塾」を開設します。

④ 国際交流事業

富士大学に学ぶ海外からの留学生に、花南地区を知ってもらうとともに、住民とのふれあいと交流を通じ、共に理解を深めるため富士大学留学生との交流会を開催します。

⑤ 各種講演会の開催

芸術文化の鑑賞の機会として文化祭などの場を活用した「郷土芸能鑑賞会」、「ステージ発表会」を開催します。また、将来に向けて自分の道を切り開く力を育むきっかけとして南城中学校生徒を対象とした教育講演会を開催します。

平成 26 年（2014 年）から始まった「花南寄席」は第 10 回の記念開催となることから、六華亭遊花さんを中心に複数の芸人さんによる話芸を楽しむ機会を設けます。

⑥ 富士大学との連携

花南地区の発展と教育・学術・文化の振興等を目的とした包括連携協定を結ぶ富士大学との関係をより一層深め、地元にある大学の「智」を地域づくりに生かせるよう活動してまいります。

◇生活環境部会

① 交通安全・防犯の推進

花巻市交通安全協会南分会、花南地区交通安全母の会と連携し、地域内の交通危険箇所の解消及び交通安全意識の啓発普及に取り組みます。また、桜町駐在所と連携し「桜町駐在所広報紙さくらまちニュース」の各自治会への配布や、交通安全・防犯の最新情報をコミュニティだよりに掲載し、安全安心なまちづくりを推進します。

② 防災の推進

災害時への対応や救急活動への理解を深め、安全安心な花南地区を築くため、自衛消防訓練・救命講習会の開催や自主防災組織への支援を行います。

③ ボランティア支援

南城小学校児童のボランティア活動を支援するため花南振興センターにプルタブ回収 BOX を設置します。このプルタブ回収運動は、交通安全旗や車イスを教育機関へ配布する福祉支援と、空き缶散乱公害防止・環境保護を目的としています。

また、地域の除雪ボランティア活動を支援するため、小型除雪機 7 台の貸し出し及び点検整備等を行います。

④ 道路整備等事業要望の現地調査

自治会から要望された地域づくり交付金事業の道路整備及び道路施設整備の現地を必要性・緊急性や生活環境の面から調査、本部役員会と合同で協議し採択する事業箇所を選定します。

◇保健福祉部会

① 世代間交流

夏休みを利用して昔遊びやレクリエーション等を通じ、世代を超えたふれあいと絆を深めるため、世代間交流会を開催します。

② 料理教室

料理を通じて食への関心と食育の大切さを学び、親子のふれあいを深めるため、親子料理教室を開催します。

③ かなん子どもひろば支援

就学前の子育ての仲間づくりや情報交換の場として、毎月 1 回開設されている「かなん子どもひろば」は、地域の子育て対策として重要な役割を担っており、その活動が円滑に展開されるよう必要な支援を行います。

④ 講演会・研修会

高齢化社会の課題である「健康と介護」や、地域で支える「福祉」について理解を深めるため、講演会・研修会を開催します。

⑤ 高齢者外出機会の創出

高齢者の生きがいづくりや地域とのつながりを深めるため、誰でも気軽に参加でき楽しいひと時を過ごす「花南シニア井戸端ひろば」を開催します。

⑥ 感染症対策支援

各自治会のまちづくり活動や生涯学習事業を安全安心に行うため、感染症防止に関わる物資の支援や情報提供を行います。

◇地域振興部会

① 雨ニモマケズ詩碑周辺整備事業

宮沢賢治の没後 90 年となる今年、全国から多くの賢治ファンが雨ニモマケズ詩碑を訪れるものと予想されることから、宮沢賢治ゆかりの花南地区として来訪者に潤いと癒しの空間を提供するため、賢治文学散歩道にプランター100 個の季節の花を飾ります。

② 地域交流事業

地域住民及び世代間の交流と地域の振興を図るため、自治会対抗グラウンドゴルフ大会を開催します。

③ 新花巻発見探訪ツアー

花巻市内各地域の史跡・名所や施設等を訪問することにより、私たちが住むまちを再認識しまちづくりに生かすため、今年度は石鳥谷地区を訪問します。

④ 史跡・名勝等や郷土歴史に関する調査や整備

花南地区に残されている歴史的文化的な史跡名勝地や郷土歴史について理解を深めるため、学習会・研修会を開催します。また、名勝地等の維持管理を実施します。

⑤ 地域振興の推進

今年度整備が予定される花巻 P A スマートインターチェンジや整備が進む花南産業団地やその中に整備される公園について、行政や関係機関と情報共有し連携を深め、この整備事業が花南地区の発展に繋がるよう一体となって考える懇談会を開催します。

◇教育文化部会

① 宮沢賢治に関する事業

宮沢賢治ゆかりの地にふさわしい花南地区を築くため、宮沢賢治について理解を深める事業「第 7 回賢治さんゆかりの地を歩く」の実施

や花南振興センター図書コーナーの宮沢賢治書籍の拡充を図ります。

② 児童生徒の自主学習支援

児童生徒の長期休暇の自主学習を支援するため、児童生徒の部屋『自学館』の開設と、親子工作教室を開催します。

③ 教育に関する講演会や事業の開催

家庭や地域の教育力を高め、児童生徒の健全育成と地域力の向上を図るため、南城小中学校、同PTA、花南教育振興協議会等と連携し、教育に関する講演会や子ども習字教室を開催します。

④ 伝統芸能の支援

花南地区内の伝統芸能等についての支援活動を行います。

⑤ 花南地区文化祭の開催

花南地区文化祭実行委員会に参画し、花南地区民の芸術文化の発表の場となる花南地区文化祭が、多くの住民参加により充実した内容となるよう努めます。

⑥ 生涯学習の推進

生き生きと充実した生活が送られるよう、学びの機会として地区民の生涯学習教室を開設します。また、自然とのふれあいや自然環境を学ぶため自然観察会や地区民ふれあいハイキングを開催します。

（２）地域づくり支援事業

◇公共施設等の軽微な維持補修

花南地区コミュニティ会議の「生活道路等整備支援事業実施要領」に基づき、自治会が行う道路の舗装整備、道路施設の整備修繕等を支援します。

◇生活環境の整備

街路灯やカーブミラー、ごみ集積所など住民の安全確保や美化・環境整備を図るための事業を支援します。また、自治公民館の修繕や備品整備、防災資機材の整備など自治会の課題解決や、住民のふれあいと交流を促進する事業を支援します。

◇各種団体の育成支援

花南地区自治公民館連絡協議会や花南教育振興協議会等の活動を支援するとともに、各種団体が行う花南地区民のふれあいや交流、安全で安心なまちづくりに資する事業を支援します。

（３）市の施設の管理事業

花南振興センター及び花南地区社会体育館の管理を花巻市から受託し、住民の生涯学習や地域づくりの拠点施設として安心して使えるよう適正な管理運営を行います。

また、令和６年度に予定されている花南振興センターの改修に向けて、市の担当部署と連携を図り住民の皆さんがより使いやすい施設となるよう基本設計等に協力をして参ります。